

# 49歳の早すぎる終焉

文団連理事であり、事業委員会・副委員長の蓮沼満さんが、8月5日大型バイクによる事故のため逝去されました。文団連一同、心よりお悔やみ申し上げ、哀悼の意を表します。



蓮沼満様 御前に  
おんまえ

狭山市文化団体連合会に衝撃が走りました。蓮沼さん、……。あなたは文団連設立の準備段階から、一生懸命関わって下さった方でした。事業委員長・青少年文化体験フェスタ実行委員長、芸術祭展示部門長などを歴任された上、写真の作家として、また各イベントの記録写真を撮るなどの縁の下での力持ちとして、あなたが文団連に注いでくださったお力は、何と大きかったことでしょうか。文化体験フェスタでは、のべ二百人近くの子ども達に「ピンホールカメラ」の楽しさを伝えて頂き、大人気でしたね。何人もの子どもにまわりつかれて、戸惑いながらも嬉しそうだったあなたの顔が目には浮かびます。「青春しますよ」と言っていて、満面の笑みでバイクにまたがったあなたが、そのバイクと共に逝ってしまわれるなんて……。文団連会員の中では、早すぎる旅立ちに、困惑と悔しさ、やりきれなさ、信じられない思いが飛び交っています。御冥福をお祈りいたしますと共に、これまで頂いた多大な貢献に対し、千六百人の文団連会員一同、心よりお礼を申し上げます。有り難うございました。そして大変お疲れ様でした。私達の心には、いつまでもあなたの笑顔が残ります。安らかに……。

狭山市文化団体連合会 会員一同

## 御礼のことば

本日は、お忙しいなかを御会葬くださいまして有難う御座いました。

遺族を代表しまして、厚く御礼申し上げます。

兄満の突然すぎた死を、私は、とても受け入れることが出来ません。幼少の頃の「ふざけ好きな兄」が思い出され、ほおって置けば、起き上がり、罰悪い、顔を向ける様な気がするのです。しかし、未だ起きてはくれません。

親しくお付き合いをさせて頂きました、たくさんの皆様、親類縁者、家族、誰一人として看取られること無しに、得意としたバイクに乗りながら、一人逝ってしまうなんて「なんて勝手なやつ」なのでしょう。そんな兄ですが、素晴らしい「才」に恵まれておりました。兄が、写真を創造しているさまを、皆様より伺う度に、その非凡さを感じ入り、又、とても羨ましくも、思える次第です。兄は、人好き、にぎやか好きな人です。きっと、一人の寂しさを嫌い、皆様の心の中に、勝手に上がりこんでいる事でしょう。

皆様の「心の中の部屋」をしばらくの間、兄へ御貸してください。兄が、部屋の中よりシャッター音を響かせることを、どうぞお許してください。

生前、兄へのご理解と、家族同様のお付き合いをさせて頂きました皆様へ、兄に代わり深く御礼申し上げます。まことに粗辞ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。本日は、まことに有難うございました。

喪主 松井 寛（実弟）

## ライバルの死

8年間、創立の時から仲間の死。衝撃でないはずはない。「ネットワークニュース」を軌道にのせたのは彼。引き継いで、いつのまにか会報やホームページづくりの手伝いをするようになった。歳も近く何事につけ、衝突することもあった。人は対立の中で己を磨き、個を自覚していく。君のおかげで道はできた。後は私たちがなんとかやっていく。安らかに。

角南 一成（広報委員長）